

安曇郡美

発行
穂高神社

海神の総社——安曇族のふるさと

志賀海神社にご参拝

御遷宮記念行事として、穂高神社の御祭神の祖神を祀る福岡市東区志賀島に鎮座致します志賀海神社へ参拝旅行が行われました。

穂高神社氏子総代班は十月十九日～二十一日、氏子崇敬者班は二十六日～二十八日の二回に分け、志賀海神社での正式参拝、櫛田神社参拝、太宰府天満宮参拝、長崎市内観光の行程で行われました。

一七八四年(天明四)に発見され、後漢の光武帝より五七年に漢倭奴国王が朝貢したといわれる「金印」の発見された地よりほど近い海沿いの山縁に鎮座し、我々安曇族発祥の地であるとともに、穂高神社のルーツともいう神社であります。

志賀海神社由緒

鎮座地 福岡市東区志賀島八七七

御祭神 左殿 仲津綿津見神 中殿 底津綿津見神

右殿 表津綿津見神

例 祭 御神幸祭 十月第二日曜日 午後七時(平成元年より隔年)

(斎行)

国土祭 十月第二月曜日 午前九時

社 格 旧官幣小社

古来より、玄界灘に臨む交通の要衝として聖域視されている志賀島に鎮座し、「海神の総本社」と称えられ、海の守護神として篤く信仰されています。

御祭神は伊邪那岐命が黄泉の国から帰り、筑紫の日向の阿波岐原

において禊祓をされた際に御出現された神様で、安曇族によって奉斎されています。神社の創建は明かではありませんが、二世紀に表津宮(底津綿津見神)がこの地に鎮座され併せて仲津綿津見神・表津綿津見神が奉祀されたと伝えられています。

社伝には神功皇后(二〇〇年頃)が朝鮮へ出兵、新羅を討つ際綿津見三神が海上の風難からお守りするなどの伝説を残しております。又、元寇の役など国家の非常の際に嚇嚇たる御神威を顕示されたことから、貞観元年(八五九年)従五位上、「延喜式」には明神大社、大正十五年には官幣小社となっている。

尚、境内社の一棟、今宮神社には宇都志日金柀命(穂高見神)が祀られており、穂高神社との繋がりの深さが分かります。

穂高神社式年大遷宮祭記念

志賀海神社を参拝して

穂高神社氏子総代幹事長 重野充男

この度穂高神社式年大遷宮祭記念志賀海神社参拝と長崎の旅一泊三日として総勢三十九名の一行が十月十九日から二十一日まで二泊三日の旅をした。

十月十九日午前五時四十五分に穂高神社に集合し、穂高神社の社前に安全祈禱をして駒ヶ根サービスエリアで休憩して一路中部国際空港へ。

十一時空港から立ち一時間半で福岡空港へ到着。市内の酒蔵造り



の百年歳で昼食をとり、天照大神を奉祀する博多総鎮守櫛田神社を自由参拝した。飾り山笠の大きさと華麗さにびっくりし博多一といふ大銀杏の側を通り今回の旅行のメイン穂高見命の父綿津見命を祀る志賀海神社を正式参拝し、阿曇磯和宮司から安曇族について説明を受ける。撰社今宮神社に宇都志日金柝命の穂高神社の御祭神を皆で参拝した。尚、数年前の福岡西方沖地震に際しては志賀海神社も多大の被害を受けたが、地元崇敬者等の協力を得て立派に再建されたことに感銘を受けた。



続いて見晴らしのよい海岸沿いの金印公園の石段の上に付く「漢倭奴国王印」の国宝の金印は海岸で発見されたと言われるが、阿曇宮司は安曇族がもらったものだと話される。出発時間が早朝であったため移動での疲労もあったが、宿舎となる国民休暇村志賀島に到着後はゆつくりと入浴をし宴会を楽しんだ。

十月二十日
午前八時宿舎を出発し長崎市へと車は走る。平和公園で穂高出身の小川大系さん徒と共に日展に入選した友人の北村西望さん作の平和像が平和を祈る力強さを感じる。

原爆資料館へ昭和二十年八月九日午前十一時二分に米国爆撃機が投下した原爆は長崎市は壊滅的被害を受け死者七万三千人余人を出し、永井隆教授もその犠牲者である。戦争は絶対にしてはならない

し、原爆もこの世から保有ゼロにしなければならぬと痛切に感じた。浦上天主堂・グラバー園を二時間半余散策した。グラバー園では当時のロマンに浸った。園上から長崎湾を一望するに、三菱造船で船の造船中であった。

長崎市は坂道が多く丘陵地に建物があり、自信などの災害があれば被害が心配である。長崎カステラセンターでは多くの人が土産品としてカステラ、明太子等を購入した。

宿泊ホテルの嬉野温泉和多屋旅館に着く。嬉野温泉きつてのホテルとのことで立派なホテルであった。

十月二十一日

八時半にホテルを出発し、十時半に太宰府天満宮へ着き自由参拝をした。天満宮の祭神は菅原道真公で学問の神様ということで孫達へのお守りを求めた人が多かった。本殿は天正十九年に再建された桃山時代の代表的建築で彫刻が立派であった。昼食を済ませ最後の行程九州国立博物館に到着。当館は東京、京都、奈良に次ぐ四番目に設立されたもので、日本文化の形成をアジア的に捉えたものであった。入館し先ず規模の大きさに驚いた。建物はサッカー場が楽々入る大きさで一階から四階までの移動はエスカレーターで行う施設である。古代九州の国宝等が観覧でき、展示品の規模の多さに驚嘆した。

総べての行程を済ませ、福岡空港を三時に出発、中部国際空港に五時十分に到着。バスに乗り換え車内で弁当を食べ、旅行は計画通り天候にも恵まれ楽しく無事に穂高神社に帰着した。午後九時十分であった。

大変残念至極のことになりましたが、十九日に国民休暇村志賀島での宴会で一行と一緒に懇親を共にした志賀海神社宮司の阿曇磯和さんが十一月一日にお亡くなりになりました。深く弔意を表し御冥福をお祈り致します。



新春祈願・交通安全祈禱大祭の御案内

今年も残すところあとわずかになり何かと気ぜわしい日々をお過ごしのことと存じます。

今年は皆様のお陰をもちまして、五月に五百年以上昔から続けられている二十一年に一度の大遷宮祭がめでたく斎行され、新しい御本殿が造り替えられました。

神様に新しい御本殿へお鎮まりを仰ぎ、神様の弥益々の御恵とともに、新しい拝殿にて清々しい空気の中で更なる御神威を頂く事が出来ました。今日私達の暮らしはこうして太古から続く二十年毎や年が改まる毎の節目節目に行われる祈りのつみかさなる誠の心によって守られていると言っても過言ではありません。時勢の浮沈に流されず常に平穩無事と繁栄をもたらし、特に車と共に歩む生活が安泰な一年でありますよう、謹んで新春祈願祈禱のご案内を申し上げます。



期間 一月二日～八日 (受付九時～十六時)

内容 交通安全、家内安全、事業繁栄、商売繁盛、厄除、八方除、試験合格、学業成就、病氣平癒、身体健全、開運招福、心願成就、安産、お宮まいり、初誕生祝い、災難除、職場安全、子授け、良縁祈願、夫婦円満、歩行安心、お礼参り、人形供養、他願い事。

祈禱料

普通祈禱 五、〇〇〇円、追加祈禱 三、〇〇〇円
特別祈禱 一〇、〇〇〇円、追加祈禱 七、〇〇〇円
交通安全祈禱

普通祈禱 一台につき 五、〇〇〇円(二百日から三、〇〇〇円)
特別祈禱 一台につき 六、〇〇〇円(二百日から三、〇〇〇円)

厄除・八方除の特別祈禱祭のご案内

平成22年厄年を迎える方、八方塞りの方はお祓いをお受けになり、大神様のご加護のもと平穩無事で明るく充実した生活をお送り下さい。

【厄年:やくどし】

古来より人生において心身の節目や責務の重き時期で事故、病氣、災難など障害の起きやすい年廻りとされています。

【厄年一覧表(数え年)】

Table with 4 columns: Gender, Age, Previous Year (前厄), Current Year (本厄), Next Year (後厄). Rows for Male (男) and Female (女).

【高齢の厄年】

産まれた年の干支がもとの干支に戻ることを長寿の祝とした60歳の翌年が通常の厄年の最後であることから、現代では長寿祝を迎えた年(古希70歳・喜寿77歳・傘寿80歳・米寿88歳・卒寿90歳)の翌年が高齢の厄年と考えられています。

【八方塞り:はっぽうふさがり】

九星は人間の運勢や吉凶の判断に用いる九つの星のことで、九星年盤の中央に入る星を本命星といいます。

本命星にあたる方が八方塞りの年で、周囲八方ふさがれ、八方どの方位方面に向かっても不吉な結果を生じ障害があり、手の打ちようのない不安定な年廻りとされています。

九星年盤 平成22年 八方ふさがりの方 (八白土星・男女)

■男・女八方塞りの年まわり表 数え年

Table showing the age of the 8 White Earth Star (八白土星) for men and women from 1913 to 2011.



Table showing the birth year (生まれ年) for the 8 White Earth Star (八白土星) for men and women, corresponding to ages 71, 78, 81, 89, and 91.

厄除・八方除の特別祈禱祭は 1月9、10、11、15、16、17日に斎行致します。

人間国宝 故宮入行平・宮入小左衛門行平

父子作刀 穂高神社御神刀展

明けける平成二十二年一月、御船会館にて、人間国宝で有名な故宮入行平氏と御子息宮入小左衛門行平氏、父子により鍛錬された名刀、御遷宮の折りに奉納された御神刀、穂高神社所蔵の刀剣類を展示いたします。

穂高神社御神刀は今回初の展示となります。日本刀という伝統文化にふれる貴重な場として大勢の方々にご覧頂けるよう準備を進めております。現代にも生き続ける伝統文化としての日本刀を、この機会に是非皆様お誘い合わせの上ご来館をお待ちしております。

会 場

穂高神社御船会館

開 催 日 時

平成22年1月元旦
1月17日まで

入 場 料

午前9時～午後5時まで
大人500円 中高生300円 小学生100円

この機会を是非お見逃しなく。

人間国宝 故宮入行平氏



宮入小左衛門行平氏



本年遷宮時に宮入氏より奉納された御神刀。

平成二十二年 新春一番祈祷のご案内

『ひとりひとりが受けられる成就の鈴払い』

年明け午前0時の時報とともに、初春のよろこびを神様にお告げし、天下泰平をお祈りする歳旦祭にひき続いて、新年の一番祈祷を斎行致します。二年参り・初詣には様々な願いを胸に祈られる事と存じます。

そんな多くの願いを必ず叶えていただけるよう、新年の一番初めに一度しか行われない巫女舞を加えた大変貴重なご祈祷です。

願い事には交通安全・家内安全・商売繁盛・工事安全・病氣平癒・安産・合格・心願成就・厄除、災難除け、等々すべての願いを含めてご祈祷致します。

一、祈祷料 一〇、〇〇〇円

(一名様)

申し込みは、電話・ファックス・メールにてご予約ください。

当日申し込みの方は、31日午後11時より受付致します。

ご予約済の方は午後11時45分に拝殿授与所までお越しください。

TEL.(0263)82-2003
FAX.(0263)82-8770
<http://www.hotakajinja.com>



節分豆まき

平成22年 年男・福女募集

来る平成22年2月3日午後3時に行われる節分祭の豆まきに、ご奉仕いただける方を募集いたします。ご希望の方は、神社までお知らせ下さい。

◎参加料：5,000円